

# あしたの風

第83号

平成28年9月1日 発行  
編集発行 秋田市教育委員会  
生涯学習室

秋 田 市 の 生 涯 学 習



## 秋田市役所新庁舎

中央市民サービスセンター（センタース）

☆☆中央地区☆☆

私の公民館変遷記

加賀谷 ユウ子

去る五月六日、新築独特の香りに包まれた新市役所三階の\*センターに足を踏み入れた。私にとって四ヶ所目の公民館施設である。開所式典の間、私は今までの公民館の変遷、その中で過ごした二十数年に渡る日々を思い出していった。

私の公民館との関わりは、八橋運動公園の中に建っていた中央公民館からスタートした。公民館運営協力委員、そして生涯学習奨励員としてである。秋田市の中心となる公民館としては少し小さめではあったが、広く市民に親しまれ、環境に恵まれた実に居心地の良い公民館であったと思

う。秋田国体を控えてこの公民館の取り壊しが決まり、平成十五年十一月、公民館は大町の商業地区にあったビルの一角に移ることに。三つの機能を持つということ



八橋にあった中央公民館

☆☆北部地区☆☆

「地の輪」と「知の和」で創る「飯島塾」を立ち上げて…

塾頭 野中和郎

愛称がサンパルとなり、私たちはその変化に少なからず戸惑いを感じたものである。でも、街なかならではの便利さもあり、徐々に慣れていったが、「単独の公民館の建物がほしいね」という声は常にあったと思う。大町に移ってから六年半後の平成二十二年四月、官庁街にある文化会館への又の引越。まるで流浪の民である。それでも住めば都、順応性が培われ、苦勞を共にした奨励員同志の結束もますます深まった。地域講座や公民館まつりなど、忙しさの中の活気が今はなつかしく思い出される。

かく変遷を繰り返して、私たちはセンター開所と共に運営協力委員の役目を返上し、二足のわらじが一足になった。身軽になった反面、一抹のさびしさも感じるが、あとは生涯学習奨励員として全力投球あるのみ。体力と相談しながらではあるが。

\*センタース

中央市民サービスセンターの愛称

大町にあったサンパル秋田



以前から、町内の何人かの方々から『第一線を退いてみて、世相に疎くなる前に、世界や日本の動きの背景にある歴史や文化を学び合う場が欲しいものだ』との相談を受けていた。たまたま、昨年の大河ドラマが吉田松陰の松下村塾を取り上げていたことにちなみ、「塾」立ち上げを決意し、飯島地区の主だった方々に打診したところ、積極的賛同を得た。早速その基本的立ち位置を協議し、他地区への波及効果等に期待して、飯島地区住民のみを対象とする「地の輪」と、「知の和」で創る高齢者生きがい事業とし、名称を「飯島塾」として塾生を募集した。その結果、予想をはるかに上回る男性六十一名、女性二十名、計八十一名の応募をいただき、昨年七月十五日に穂積市長を迎えて開講式を挙行できた。講座はそれぞれ県内外で知名度の高い講師をお招きし、常に八割前後の出席率で九回に及ぶ全講座を終え



開講式から

ることができた。塾生各位からは、「自己啓発等豊かな生きがいに改めて気づいた」等々の感想が多数寄せられた。二年目を迎えた本年度は、五月二十五日に元秋田県教育長の小野寺清さんによる「学力日本一の軌跡」を皮切りに、六月十五日は大仙市の小西チヨさん（九十一歳）に、『中共軍に看護婦として留用された中国での戦争体験とともに激動の半生』を語っていただき、平和の意義を吟味し合った。今後、国際教養大の留学生との交流や、ボランティア活動も加味する中で、各領域で魅力ある九講座を用意している。

世界一の長寿国の日本。今私たちは、「老い」に対して多くの課題に向き合っている。一人ひとりが日本人としての矜持を胸に、次の世代を担う主人公たちに、いかなる「老い方」を背中中で示せるかが問われており、飯島塾の存立意義もそこに置きたいと念じている。



熱心に受講する塾生

☆☆土崎地区☆☆

子育てボランティア

高橋 紀子

私は、土崎公民館で運営協力委員、生涯学習奨励員、公民館ボランティアとしてお手伝いしていましたが、平成二十三年、公民館の業務が北部市民サービスセンターに移行してから、私も土崎地区学習ボランティアとして活動しています。

現在は、夏・冬休みのわんぱく塾おやつ作り、ねむの木学級、子育て学級のお手伝いをしています。カンガルー学級（六ヶ月〜二歳）とペンギン学級（二歳〜三歳）の幼児が対象で、毎年各学級二十〜三十組の親子の参加があります。講師のお話を聞いた

り、人形劇を見たり、一緒に歌ったり、体を動かしたり、子どもたちは喜んで参加しています。また動物園などの移動学習や、いくつかのセンター合同ミニ運動会、市内全センター合同のクリスマス会には私たちも同行します。私たちは七人で活動していますが、普段は交替で、移動の時は全員で受け、子守、遊び相



合同ミニ運動会



合同クリスマス会

手、講師や職員のお手伝いをしています。私のボランティア活動も十年以上になりますが、子どもたちが楽しく遊んでいる姿を見ると、私たちもうれしくなります。一方、親から離れず、泣き止まない時の対応には悩みます。時代と共に子育ての違いを感じる事もあります。核家族化が進み、近所づきあいも少なくなり、子育てはパソコンで、との声も聞こえる中、経験者の話を聞いてはどうかと思うこともあります。それでも、祖母と同居のお子さんは、ちょっと違う所もあるように感じられています。ボランティアを始めた頃の子どもたちは高校生になり、会ってもお互いにわからないかもしれません。私たちも高齢者になり、若い人たちの入会があればと常々思っています。

☆☆西部地区☆☆

鹿嶋祭りに寄せて

新屋鹿嶋祭保存会

会長 海 風 敏 夫

毎年六月の第二日曜日、新屋全町民あげての鹿嶋祭りが行われる。この新屋に生まれ育った私にとって、そここの町内から太鼓の音が聞こえてくると、「いよいよだな」と感じる。「子供達の健やかな成長と安全」を祈願して行われるこの祭り、今年は「秋田市無形民俗文化財」の指定を受けた記念すべき年である。種々の条件をクリアし、秋田市より、三月三十日に正式に指定書を交付された時には、関係者一同感動し、喜び合ったものである。

ここで、新屋の鹿嶋さんについて紹介しようと思う。「新屋の鹿嶋祭り」の起源は、およそ三五〇年から四〇〇年に及ぶ伝統行事と言われているが、確かな文献は残されていない。全町二十町内と秋田県立栗田支援学校の二十一基の鹿嶋船が、その年の当番町の誘導、指揮に従って神社でお祓いを受ける。この日が近づくと、各町内では、大人も子供も「船の飾り付け」をどうするかを考え、行動する。特に船尾につけるキャラクター人形の制作に骨を折る。また近年は、鹿嶋船の周りに巻き付ける「ガツギ」が手に入りなくなつて苦心している。人形や飾り付ける旗、花飾りなど町内有志、小学生と父兄が時間を絞つて駆けつけてやっと完成に漕ぎ着ける。あとは当日のお天気だけが心配である。

当日は、各々その町内名のついた半纏、豆絞りスタイルで、「鹿嶋船を乗せた馬車」につけられたロープを引っ張りながら

「シヨツ、シヨツ、シヨ」鹿嶋さんの歌を歌い、お祓いを受ける日吉神社に向かつて巡航するのである。沿道にはその様子を見る住民が出て声をかける。和やかな風景である。もう一つ忘れてならないものに、この時期食べられる「笹巻」がある。餅米を笹に包んで紐で縛つて茹で上げ、黄粉をまぶして神棚に供え、鹿嶋船が無事走行できるように祈願する。小ぶりなものを作り、船に乗せる「鹿嶋人形」に提げてやる人もいる。もちろん自分たちもおいしくいただくのである。鹿嶋船について詳しい実物を見たい方は、西部市民サービスタワー二階に常設しているので、足を運んでくだされば幸いである。この「秋田市指定無形民俗文化財」を、今後末永く継承していきたいと願っている。

※ガツギ

標準和名をマコモといい、大人の背丈ほどに成長するイネ科の水生物。

巡航中の鹿嶋船



お祓いを受ける鹿嶋船



《連載》社会教育活動拠点施設

大森山の新たな拠点、大森山動物園ビジターセンター

大森山動物園主席主査 吉田 淳一

平成二十六年七月二十四日、「大森山自然動物公園整備構想」に基づき、観光拠点としての魅力作りと利用者の利便性向上を図るため、「大森山動物園ビジターセンター」(以下ビジターセンターという)がオープンしました。

ビジターセンターは、正面ゲートを中央に配置

し、向かって左側の「動物園エリア」と右側の「公園エリア」に分かれています。

動物園エリアは秋田杉を使用した温かみのある内装で、来園者の休憩や各種イベントの会場など多目的に利用されており、その一角には、小さなお子さんが遊べるキッズコーナーがあります。情報コーナーには、イヌワシやゼビタナゴの保護に関する動物園の取り組みなどを紹介した情報ボードのほか、デジタルサイネージ（電子看板）で動物の赤ちゃんやイベントなど最新の動物園情報もご覧になれます。正面ゲートから大きな楕円形の屋根が特徴の大屋根広場を通ると、左側の園路には動物をより身近に観察できるウエルカム動物舎があり、可愛い小動物がお客様をお迎えしています。

公園エリアは動物園来園者だけでなく公園利用者など、どなたでもご利用になれる無料休憩コーナー

大森山動物園ビジターセンター外観



ナーや授乳室などがあり、軽食コーナーやお土産などを販売するZOOショップもあります。大森山公園は散策やピクニックなどのレクリエーションに広くご利用いただいておりますので、大森山を訪れた際は、ぜひ、ビジターセンターにお立ち寄りください。

大森山動物園は今年で開園四十三年目を迎える秋田市を代表する観光施設です。入園料は大人七二〇円、高校生以下無料で、何度でも入園できる年間パスポートも一、二、三〇円とお得ですので、ご家族みなさんでご利用ください。

開園

午前九時～午後四時半（入園は四時まで）

休園（平成二十八年年度）

十二月一日～翌年三月十七日（それ以外は無休）  
ただし、一月七日～二月二十六日  
土日祝日に「雪の動物園」開催予定

ビジターセンター  
動物園エリア



ビジターセンター  
公園エリア



平成二十八年年度  
公民館・市民サービスセンター  
まつり

公民館や市民サービスセンターを拠点として学習活動に励んでいる方々の発表の場、そして地域住民の語らい、親睦を深める場となっています。芸能発表や作品展示、軽食コーナー等が用意されており、ぜひ、会場に行ってみてください。（内容、開催日は、変更になる場合があります。）

○北部公民館

十月十四日（金）・十五日（土）・十六日（日）

○中央市民サービスセンター

十月八日（土）・九日（日）

○東部市民サービスセンター

十月二十二日（土）・二十三日（日）

○西部市民サービスセンター

十月七日（金）・八日（土）・九日（日）

○南部市民サービスセンター

十月十五日（土）・十六日（日）

○北部市民サービスセンター

十月一日（土）・二日（日）

○河辺市民サービスセンター

十月十五日（土）・十六日（日）

○雄和市民サービスセンター

十月十五日（土）・十六日（日）

平成二十八年度  
秋田県生涯学習奨励員協議会  
功労者表彰

平成二十八年五月十七日、秋田県生涯学習センターにおいて開催された、平成二十八年度秋田県生涯学習奨励員協議会の席上で、左記の方々が表彰されました。

- 工藤 一子 奨励員（雄和地区）
- 伊藤 隆志 奨励員（雄和地区）
- 斉藤 學 奨励員（河辺地区）
- 鈴木 房子 奨励員（南部地区）

おめでとうございます。  
今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



生涯学習奨励員って・・・

地域における生涯学習を盛んにするためには、住民の身近なところで学習活動を奨励、援助する人が必要です。

生涯学習奨励員は、市町村や各種団体が主催する行事への参加を促したり、楽しい学習事例を紹介したりするほか、公民館や市民サービスセンターなどで開催される地域の行事を自ら企画したり、他の企画に進んで参加または応援、協力する等の役割を担っています。

「あしたの風」はどこに配布しているの？

「あしたの風」は年2回（9月と2月）各一、二〇〇部発行し、秋田県の社会教育施設（生涯学習センター、図書館など）や秋田市の社会教育施設（公民館、図書館など）、社会教育関係委員（社会教育委員、生涯学習奨励員など）に配布しています。

このほか、市民サービスセンター、地域センター、コミュニティセンターにも配布しています。

ご希望の方は秋田市教育委員会生涯学習室（八八八―五八一〇）までご連絡ください。

編集後記

快く寄稿して下さった皆様のおかげで、「あしたの風」八十三号を無事発行することができました。

できるだけ沢山の方が手に取り、読んで下さることを願っております。  
未だ厳しい暑さが続いております。  
どうぞご自愛くださいませ。



編集委員（秋田市生涯学習奨励員）

- 田村 美穂子（土崎） 富樫 智恵子（中央）
- 永井 文代（東部） 相原 和子（西部）
- 乙供 美香（南部） 来栖 瑞恵（北部）
- 石塚 小枝子（河辺） 大友 昌子（雄和）

『あしたの風』第83号

発行年月日 平成28年9月1日  
発行部数 一、二〇〇部  
編集発行 秋田市教育委員会生涯学習室  
秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

単価 一部57円（消費税抜き）

発行部数 一、二〇〇部

配布方法 無料配布